

東北大学大学院法学研究科前期2年の課程（法政理論研究専攻）

- ①広い視野と専門的知識に基づいて、法学・政治学の分野において独創的な研究を遂行する能力又は高度に専門的な職業に従事できる能力を有している
- ②社会的及び学問的ニーズを踏まえつつ、法学・政治学に関する諸課題を発見、探求し、高い倫理と責任をもって、社会の発展に貢献することができる
- ③国際的視野とコミュニケーション能力を有し、それによって世界水準を目指す研究成果を発信すること、又は高度に専門的な職業に活かすことができる

2
年
次

修士論文

論文指導（2単位）※6単位を上限

広い視野と専門的知識を修得

基礎法学

法理学演習Ⅰ～Ⅲ、法理学特論、日本法制史演習Ⅰ・Ⅱ、西洋法制史演習Ⅰ～Ⅲ、西洋法制史特殊講義Ⅰ・Ⅱ、西洋法制史特論Ⅰ・Ⅱ

公 法

憲法演習Ⅰ～Ⅲ、比較憲法演習Ⅰ・Ⅱ、行政法演習Ⅰ・Ⅱ、刑法演習、刑法演習Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法演習、租税法演習Ⅰ・Ⅱ、海洋法、国際法演習、国際法演習Ⅰ～Ⅳ
刑事法判例研究会Ⅰ、公法判例研究会Ⅰ

私 法

民法演習、民法演習Ⅰ・Ⅱ、現代民法特論Ⅰ～Ⅲ、実証分析演習Ⅰ・Ⅱ、商法演習、商法演習Ⅰ～Ⅴ、経済法、経済法演習、知的財産法演習Ⅰ～Ⅳ、民事手続法、民事手続法演習Ⅰ～Ⅲ、労働法、労働法演習、金融法、交渉演習Ⅰ～Ⅱ、国際私法、国際私法演習Ⅰ・Ⅱ
民法研究会、社会法研究会Ⅰ

政治学

西洋政治思想史演習Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ政治史演習Ⅰ・Ⅱ、国際関係論演習Ⅰ・Ⅱ、比較政治学演習Ⅰ・Ⅱ、日本政治外交史演習Ⅰ・Ⅱ、国際政治経済論演習Ⅰ・Ⅱ、アジア政治経済論演習Ⅰ・Ⅱ、行政学演習Ⅰ・Ⅱ、中国政治演習Ⅰ・Ⅱ、現代政治分析演習Ⅰ・Ⅱ

国際的視野とコミュニケーション能力を修得

国際プログラム：
国際総合科目

Introduction to Latin American Politics, 法とジェンダー演習、国際コロキウムⅠ、国際カンファレンスⅠ、日本法演習、Contemporary Chinese Diplomacy, International Politics of East Asia, 援助と開発演習、グローバル・ガバナンス論

指導教員による研究指導

1
年
次

その他：外国法文献研究Ⅰ（英米法）、外国法文献研究Ⅱ（ドイツ法）、外国法文献研究Ⅲ（フランス法）、

東北大学大学院法学研究科後期 3 年の課程（法政理論研究専攻）

- ①豊かな学識と高度の専門的知識・技能に基づいて、専攻分野において自立して独創的な研究を遂行し指導できる能力、又は高度に専門的な職業に従事でき、その専攻する特定の領域において卓越した能力を有している
- ②社会的及び学問的ニーズを踏まえつつ、法学・政治学に関する諸課題を解決できる能力を有し、独自の発想や高い倫理と責任をもって、社会及び学問の発展に貢献することができる
- ③高度な国際的視野とコミュニケーション能力を有し、世界水準の研究成果を発信し、それによって国内外における当該分野の研究を先導すること、又は高度に専門的な職域の発展に貢献することができる

博士論文

博士論文指導A～D

憲法演習A, 比較憲法演習A・B, 刑法演習, 刑法演習A, 刑事訴訟法演習, 刑事訴訟法演習A・B, 行政法演習A・B, 民法演習A・B, 商法演習A, 民事手続法演習A, 民事手続法演習B, 国際法演習A・B, 租税法演習B, 知的財産法演習A・B, 実務知的財産法, 経済法演習A, 国際私法演習A・B, 労働法演習A, 社会保障法演習A, 子どもと法演習, 法理学演習A～D, 日本法制史演習A・B, 西洋法制史演習A, 外国法文献研究A（英米法）, 外国法文献研究B（ドイツ法）, 外国法文献研究C（フランス法）, 外国法文献研究D（ドイツ法）, 法律フランス語演習, 比較政治学演習A・B, 西洋政治思想史演習A・B, 日本政治外交史演習A・B, 現代政治分析演習A・B, 行政学演習, 中国政治演習A・B, 国際政治経済論演習A～D, 中国商事法演習, 国際コロシアムA, 国際カンファレンスA, 民法研究会, 社会法研究会A, 刑事法判例研究会A, 公法判例研究会A

法政理論研究コース

国際共同博士コース

後継者養成コース

・1年間 海外連携機関で研究に従事

- ・上級エクスターンシップA
- ・上級エクスターンシップB
- ・法政実務カンファレンスA
- ・法政実務カンファレンスB

高度の専門知識・技能の修得

3
年
次

2
年
次

1
年
次

指導教員による研究指導